

# 「30年みつ（三）昔」

中澤氏家薬業株式会社

総務部長 門田 充代



今年から労務管理者協議会の幹事をさせていただきます、中澤氏家薬業株式会社の門田と申します。どうぞよろしくお願い致します。高知県経営者協会様には常日頃からとんちんかんな質問をしたり、面倒くさい相談事で多々ご面倒をおかけしておりますのに、幹事という大役をお引き受けして更にご面倒ご迷惑をおかけすることになりはしないかと不安に思っていたところへ今回のメンバーリレーのご依頼がありました。かなりプレッシャーを感じておりますが、「自己紹介で結構です」とのことでしたので、弊社と私の自己紹介をさせていただくことといたします。

弊社は天保3年(1832年)に現在の香南市香我美町岸本で薬屋として創業したのが始まりで、昭和24年(1949年)高知市本町に「中澤薬業株式会社」を設立、昭和52年には高知市大津へ移転、平成10年には香川県の旧氏家薬品株式会社と合併、今の「中澤氏家薬業株式会社」となりました。そして平成29年(2017年)に南国市伊達野へ移転し、地域に密着した医薬品卸として医薬品の安定流通を通じて高知県の地域医療の向上と地域社会の発展に貢献するべく、特にこのコロナ禍においてはワクチン流通を担う社会的責任の重さに社員全員が最大限の危機意識をもって業務に取り組んでおります。取り扱う商品は医療用医薬品・一般用医薬品のほかにも、医療機器、検査試薬、病院食など医療・介護・健康に関するもの、農薬や農業関連資材、食品原材料など多岐にわたっており、実は私も入社して初めて「おくすり」以外のたくさんのが倉庫に

あってびっくりしました。特に意外だったのが農薬ですが、でも、字のごとく、「農」業の「薬」ですよ。就活の学生さんにその話をすると、「そうですね～」と納得してくれます。

さて、そんな私の自己紹介ですが、一度は高知から外へ出たくて県外の大学へ進んだものの、やはり住み慣れた高知で暮らしたいと思い、ご縁があつて平成元年に当時の中澤薬業へ入社いたしました。以来ずっと総務部で勤務しております。入社したころは総務部9人にワープロが1台しかなく、書類のほとんどが手書きで、机の周りには紙だらけ、複写機にはまだ「青焼き機」なるものがあり、コピー機ではない複写機を生まれて初めて見ました。当然、使い方もわからず、周りの先輩方はソロバンで計算しておられるし、「私はここでやっていけるのだろうか？」と不安を覚えたことでした。月日は流れ、今では文書や計算はパソコンで正確に作成でき、PCと携帯電話があれば事務的業務は会社になくてもできる時代になってきました。「10年ひと昔」といいますが、30年以上が過ぎ、隔世の感があります。とはいえ、弊社は物流業でもあります。そして扱っているのは命に係わる商品です。必ず誰かがお届けしないとイケません。どんなにテレワークが進もうとそれだけは人の手が必要です。「手から手へ、お届けする使命」をもって日々私たちは仕事をしています。どの企業様も社員の感染予防に心を砕いておられることと存じます。繰り返す感染拡大に休まるときはありませんが、本当に一日も早く収束することを願ってやみません。